

育児中の夫婦関係と子育てに対する意識

— インタビューによる調査 —

生活文化学専攻

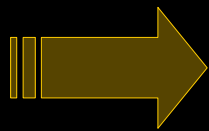
安藤ゼミ 05420887

金谷 衣里子

問題関心

1980年代の育児不安研究

「・・・夫との会話の時間が多く、夫と話をしていて充実感、幸福感を感じることができる場合に、育児不安は弱まることがわかった。」



最近では、夫のどのような言動が妻の育児不安や育児ストレスを軽減しているのか？

- ・ 夫婦の関係性
- ・ 夫の育児・家事への参加度

目的

- 1 夫婦関係と子育てに対する意識の関連性の検討
- 2 夫婦関係だけではなく、夫の育児参加も妻の育児に関するストレスを緩和するのか
- 3 夫婦間で、互いのストレス認識にズレが生じていると、配偶者への満足度も変わるのか

方法

- ・ 0～12歳(小学生まで)の子を現在育てている、夫婦4組と妻のみ5名の計13名(25～41歳)
- ・ 夫婦の育児の様子や夫婦関係について19項目



インタビュー

● 主な質問項目

- ・ 旦那さんは子育てにどのように関わっていますか
 - ・ おくさんは子育てにストレスを感じていると思いますか
 - ・ お子さんが生まれて、夫婦関係は変わったと思いますか
- ・・・etc

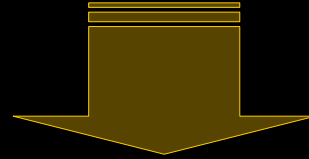
Q. お子さんが生まれて、夫婦関係は変わったと思いますか？



確かにラブラブ度は下がったけど、共同体って感じにはなったかなー。昔は夫婦のつながりってのが大きかったけど、今は子どもを介して、だんなと接してる感じはあるかも…。

結果と考察 1

1 夫婦関係と子育てに対する意識の関連性の検討



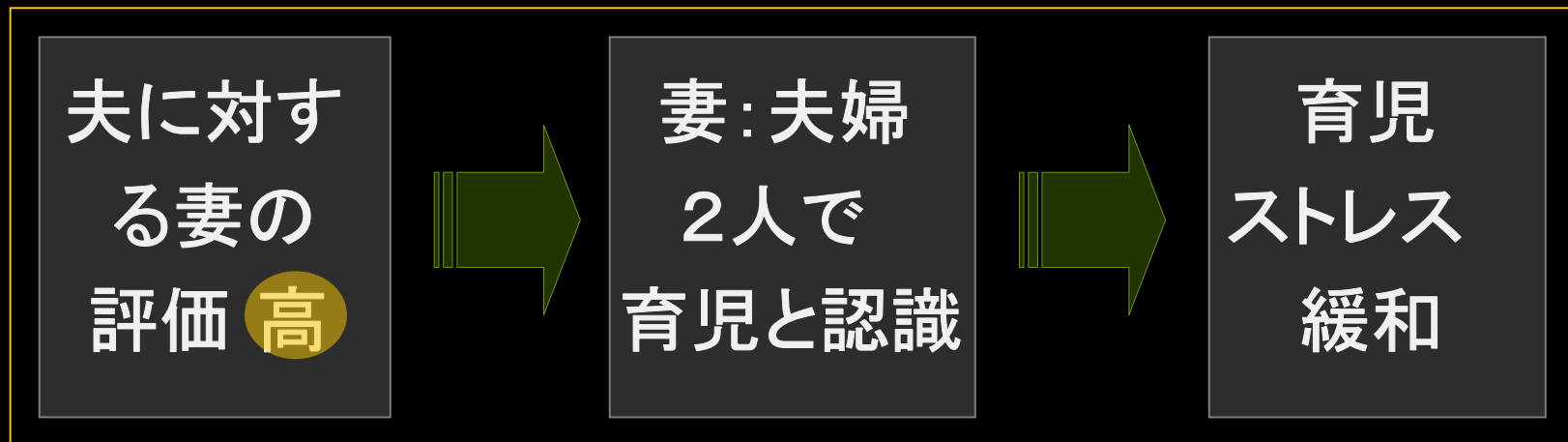
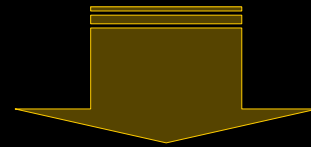
- ・ 子どもが生まれることで変わる夫婦関係を肯定的に捉えている
- ・ 夫婦のつながりよりも子どもを含めた家族としてのつながりを重要視



夫婦関係と子育てに対する意識には関連なし

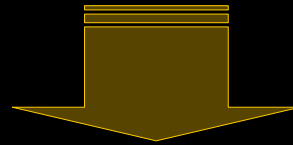
結果と考察 2

2 夫婦関係だけではなく、夫の育児参加も妻の育児に関するストレスを緩和するのか

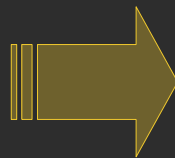


結果と考察 3

③ 夫婦間で、互いのストレス認識にズレが生じていると、配偶者への満足度も変わるのか



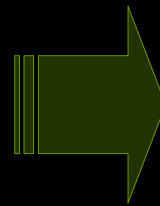
お互いのストレス認識にズレが生じていると、
配偶者への不満につながると考えられる



妻のストレスに注目しすぎたため、
夫のストレスにも注目すべきであった

まとめ

実際に何をするか
内容や時間
物理的



どのような気持ち
で取り組むか
精神的

何のために男性も育児をするのか？
どうしてする必要があるのか？